

令和3年3月26日
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所
令和2年度第3四半期運転状況報告について

志賀原子力発電所運転状況

1. 発電所の運転状況（令和2年10月～12月）

(1) 1号機

a. 運転実績

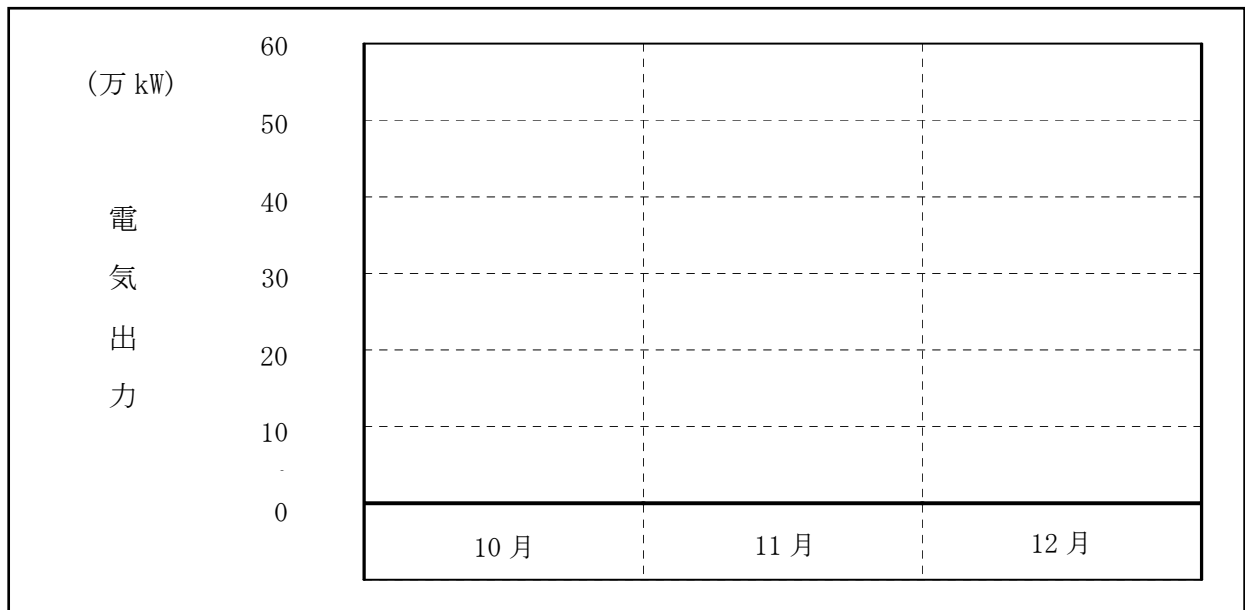
項目	単位	10月	11月	12月	備考
認可出力	万kW	54			
発電時間	時間	0	0	0	
発電電力量	100万kWh	0	0	0	
時間稼働率	%	0	0	0	
設備利用率	%	0	0	0	

注)

$$\cdot \text{時間稼働率} = \frac{\text{発電時間}}{\text{暦時間}} \times 100(\%)$$

$$\cdot \text{設備利用率} = \frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間}} \times 100(\%)$$

b. 運転線図



[特記事項]

年月日	内容
(平成23年10月8日)	第13回定期検査開始

(2) 2号機

a. 運転実績

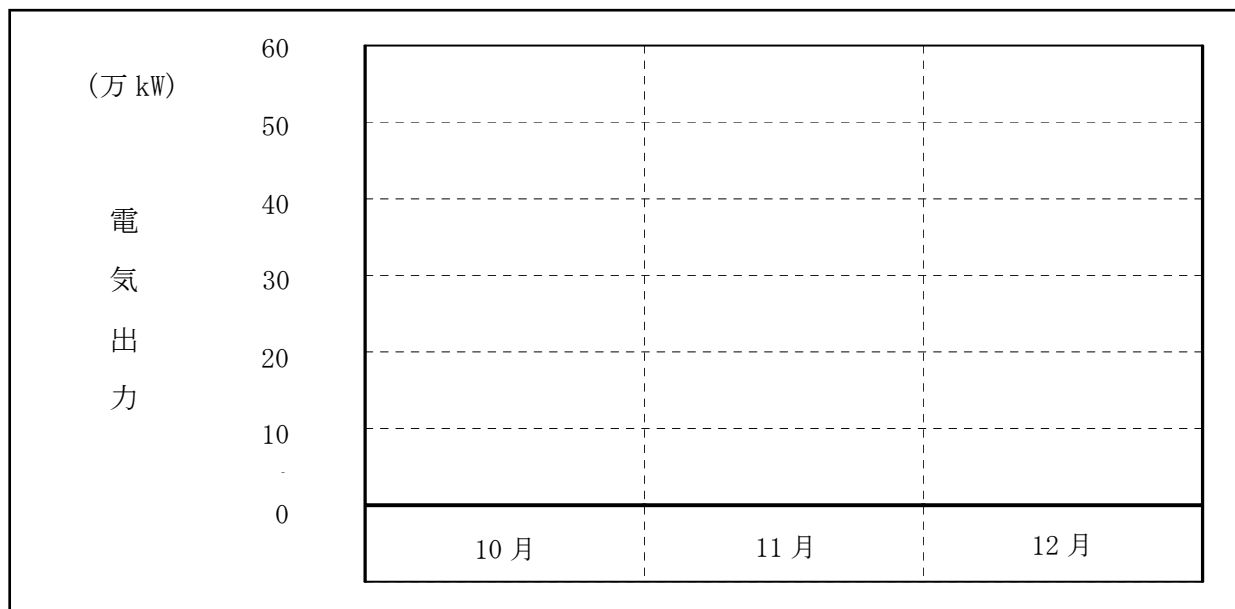
項目	単位	10月	11月	12月	備考
認可出力	万kW	120.6			
発電時間	時間	0	0	0	
発電電力量	100万kWh	0	0	0	
時間稼働率	%	0	0	0	
設備利用率	%	0	0	0	

注)

$$\cdot \text{時間稼働率} = \frac{\text{発電時間}}{\text{暦時間}} \times 100(\%)$$

$$\cdot \text{設備利用率} = \frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間}} \times 100(\%)$$

b. 運転線図



[特記事項]

年月日	内容
(平成23年3月11日)	第3回定期検査開始

2. 放射性廃棄物の放出及び保管状況（令和2年10月～12月）

(1) 気体廃棄物の放出量

（単位：Bq）

	放射性希ガス		放射性よう素	
	当該四半期の放出量	管理目標値	当該四半期の放出量	管理目標値
原子炉施設合計	——	2.3×10^{15}	——	4.8×10^{10}

注) 放出放射性物質濃度が検出下限値未満（ND）の場合は、放出量を「——」で示す。

(2) 液体廃棄物の放出量

（単位：Bq）

	トリチウム以外		トリチウム	
	当該四半期の放出量	管理目標値	当該四半期の放出量	管理基準値
原子炉施設合計	——	7.4×10^{10}	——	7.4×10^{12}

注) 放出放射性物質濃度が検出下限値未満（ND）の場合は、放出量を「——」で示す。

(3) 固体廃棄物の発生量等

発生量		減少量		期末 保管量 (本相当)	貯蔵設備 容量 (本相当)
ドラム缶 (本)	その他 (本相当)	発電所内 (本相当)	発電所外 (本相当)		
204	0	108	480	6,830	10,000

注) 減少量(発電所内)は、発電所内で分別・充填処理を行うために減少した放射性固体廃棄物の保管本数。

注) 減少量(発電所外)は、日本原燃(株)低レベル放射性廃棄物埋設センターへ搬出した本数。

3. 放射線業務従事者の線量（令和2年10月～12月）

	放射線業務従事者 (人)	総線量 (人・Sv)	平均線量 (mSv)
合計	966	0.00	0.0

注) 線量の検出下限値は0.1 mSv

4. 線量率の測定結果（令和2年10月～12月）

単位：nGy/h

モニタリングポスト	最高値	最低値	平均値	過去の測定結果 (H29.4～R2.3)
MP-1 ^{*1}	106	24.5	28.6	—
MP-2	111	26.1	35.1	21.9～98.7
MP-3	106	21.7	31.0	19.6～93.2
MP-4 ^{*2}	108	27.3	38.2	25.1～93.5
MP-5	104	22.1	31.7	18.9～93.1
MP-6	119	31.1	40.9	25.5～103
MP-7	117	24.7	30.2	19.6～88.4

*1：MP-1は平成30年8月31日の大雨により故障し、令和元年6月12日に復旧した。
MP-1復旧に伴い周辺環境が変化したため、「過去の測定結果」については「—」とした。

*2：令和2年8月19日10時10分から12月11日18時00分のMP-4の測定結果については、通常と異なる線量率上昇が見られ、通常の測定環境とは異なる状態における測定となったため、測定結果から除外した。表中の測定結果は、令和2年12月11日18時10分以降の測定値を示す。（除外した期間の測定結果は次ページ参照）

以上

○監視結果から除外した期間のMP－4測定結果

令和2年8月19日10時10分から12月11日18時00分のMP－4の測定結果については、局舎内に天然放射性核種が流入したことにより通常と異なる線量率上昇が見られ、通常の測定環境とは異なる状態における測定となったため、監視結果から除外したが、測定機器に異常はなく、空間線量率の監視はできていたことから、当該期間の測定結果を参考資料として報告する。

単位：nGy/h

測定地点	測定年月	最高値	最低値	平均値
MP－4	2年 8月19日～31日	44.9	35.0	41.2
	9月1日～30日	82.2	35.7	43.3
	10月1日～31日	80.3	37.0	45.7
	11月1日～30日	80.3	33.1	40.0
	12月1日～11日	52.9	32.9	37.0

(注) 測定期間のうち令和2年11月13日16時20分から12月11日18時00分までは交換した予備品の供用前の測定結果を示す。

○MP－4付近における可搬型モニタリングポストの測定結果

MP－4において、通常と異なる線量率上昇を確認したことを受け、MP－4付近に可搬型モニタリングポストを設置し、測定を実施した令和2年10月23日11時00分から12月11日18時00分までの測定結果を参考資料として報告する。

単位：nGy/h

測定地点	測定年月	最高値	最低値	平均値
MP－4付近	2年 10月23日～31日	75.8	40.9	43.9
	11月1日～30日	81.8	39.7	43.4
	12月1日～11日	56.1	39.4	41.8

可搬型モニタリングポストの測定方法と測定機器

項目	頻度	測定方法	測定機器
線量率	連続	測定法：「連続モニタによる環境γ線測定法（平成29.12〔改訂〕原子力規制庁）」に準拠 測定器の位置 : 地上1.0m 測定エネルギー範囲 : 50keV ～ 3MeV 校正線源： ¹³⁷ Cs	線量率測定器 2"φ×2" NaI(Tl)シンチレーション 検出器